

トランプ氏「近くホルムズ海峡を米国領と宣言する」

アル・ムドゥン — アラブ・世界 2026 年 8 月 14 日（金）

米国のドナルド・トランプ大統領は 14 日夜、ホルムズ海峡を「近いうちに」米国領と宣言すると述べた。

ニューヨーク州の警察学校で開かれた政治集会で、トランプ氏は笑いながら、「非常に近いうちに、ホルムズ海峡を米国領と宣言する。これは本当だ」と語った。

また、トランプ氏は、米国がイランに対して「強力な経済的打撃」を与えると述べ、「我々はイランに強力な経済的打撃を与える。それが中間選挙の前になるか後になるかは、私には関係ない」と語った。

さらに、「我々はイランが現在行っていることを続けるのを許さない。燃料価格の上昇には耐えることができるが、イランが核兵器を保有することは許さない。もし我々が B-2 爆撃機で攻撃していなければ、イランは核兵器を保有していただろう」と強調した。

そして、「私は政権の指導者たちに対し、起こり得る大惨事を防ぐため、中東への短期間の訪問を行う必要があると伝えた」と付け加えた。

トランプ氏はさらに、海上封鎖が続いていることを強調し、「我々が許可しない限り、いかなる船舶も通過することはない」と述べた。そして、「もしイランが我々を攻撃すれば、我々は 100 倍の力で反撃する」と警告した。

ベッセント氏もイランへの追加措置を示唆

トランプ氏の今回の発言は、米国のスコット・ベッセント財務長官が前日、米国は近くテヘランに対して「これまで誰も見たことのない」措置を講じると述べたことを受けたものだ。

ベッセント氏は 13 日木曜日、イランに対して、世界がこれまで経験したことのない規模の経済的孤立をもたらす措置を取ると警告し、来週には新たな措置が講じられる見通しだと述べた。

ベッセント氏は、保守系米国メディア「ニュースマックス」の取材に対し、これらの措置

について、「世界がこれまで見たことのない規模の経済的孤立」となると説明した。そのうえで、「ホルムズ海峡で続いている封鎖によって、イランの港に何かが入ることも、そこから出ることも阻止される」と述べた。

また、来週のさらなる発表を注視するよう呼びかけ、今回の措置について、金融面からの圧力と港湾封鎖を組み合わせたものになると説明した。

こうしたベッセント氏の強硬な姿勢は、今月 4 日に示した発言とは対照的だ。同氏は 4 日、米 CNBC のインタビューで、数日以内にテヘランとの合意に達し、ホルムズ海峡を再開させることが可能だとの見方を示していた。

この発言を受け、ウォール街では株価が上昇し、原油価格は下落した。